万句の里俳句会　12月句会

時雨来て濡らしてゆきし旅衣　**平山　邦子**
やわらかき光の中の花八手　**松永　久子**
木洩れ日の残る紅葉を称へけり　**中路　郁子**
山陰の風の忘れし冬もみじ　**鋤本　トミ**
川に散り洗はれてゐる冬紅葉　**田中ひさ子**
恵まれし小春日和や野良仕事　**芹川のり子**

せせらぎ俳句会　12月例会

寒空を仰ぎ去りゆく年思ふ　**渡辺　大寿**
闇汁の途絶え偲ぶや師の笑顔　**寺本　和子**
住み古りて目貼り我が家の冬構え　**村山　数恵**
煤掃きに適ふこよなき日差しかな　**服部　静子**
松島一望千厳山は冬の風　**藤本アツ子**

旭志文芸教室俳句の会12月詠草

干し柿の甘きかほりや納屋の軒　**中尾ヨシコ**
熟れ柿に番いの鴉朝餉かな　**芹川　蓉子**
北窓を閉めて隣の遠くなり　**水谷　ミネ**

肥後狂句水笑会　12月例会

忘年会　一日おきに出て行かす　**御手洗三代**
お品書き　見てもわからん達筆で　**柏原　乗仏**
また肥えた　ヘルスメーター2台要る　**宮上　美由**
孤独死　添い寝しとった遺言書　**井手　水光**
孤独死　冬は四・五日ねまらんど　**山隈　好茶**

七城短歌会　12月詠草

逝きし夫の追憶些細も書き綴るノート一冊私の遺産　**緒方　寛子**

肥後狂句桜会　12月例会

さぞよかろ　何食ても肥満と無縁　**光堀　善教**
どこか変　同じこつ又尋ねおる　**上村　○子**
固まらん　まァだギブスの外されん　**小川　繁美**
どこか変　冷凍物じゃなかろうか　**狩野　本六**
なれてきた　失言だけは要注意　**窪田　明徳**

里の短歌会　12月詠草

久びさに娘の家族らと往く阿蘇路銀杏に染まりつつ新蕎麦を食む　**安見　朱實**
時雨後のみどりの苔に紅葉のもみじしっとり秋月城趾　**梶原美智代**
ディケアの送迎バスの去りしあと紅葉散り敷く道に風舞う　**山城　雅子**
菊池野の広がる雲の切れ間より光の柱地に直に立つ　**緒方　悦子**
霜枯れの白菊の片へ水仙の一群凜と寒に入りゆく　**松本　幾代**

菊池短歌会　1月詠草

駈けてゆく午を夢みて迎えたる九十一才若帰るべし　**岩木　妙子**
それぞれの時もて行き交ふカタールの人種坩堝のなかを漂ふ　**岩永　典子**
アコーデオン練習しつつ寒の夜更けままにならない我の指先　**村上　幾雄**
蟻の群れ蜻蛉の屍に寄りたかり御輿の如く担ぎゆくなり　**岩崎　照代**
近づけば一斉飛び立つむら雀実り始めの稲穂を荒らし　**嶋田　晴美**
留守に娘が来て植えくれしパンジーがデイ帰りの吾慰めくれる　**下川　つぎ**
数へ日となりゆく日々のあわただし八十路の扉そこに見えつつ　**梅田　昭子**
歩武堂々時は年輪刻みをり今朝は年初の雑煮に向ふ　**古賀　勝士**
ふたつみつ柑子の黄を摘み残し独り越えゆく冬のわが視野　**竹野美智代**

文芸きくち

図書だより

泗水図書館　☎0968（38）6866
中央公民館図書室　☎0968（25）1672
七城公民館図書室　☎0968（25）1580
旭志公民館図書室　☎0968（37）3111
内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館　月曜日・月末・祝日
中央公民館図書室　火曜日・第１日曜日・祝日
七城公民館図書室　日曜日・祝日
旭志公民館図書室　日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ　http://www.kikuchi-lib.jp/

司書のつぶやき

「鬼は外！福は内！」の声が聞こえる節分。寒さの中の立春。日本の季節感や言葉は美しいですね。　コスモス

新着・お薦め図書

泗水図書館

五峰の鷹	安部龍太郎　著
三陸の海	津村節子　著
尾根を渡る風	笹本稜平　著
私のなかの彼女	角田光代　著
くまモン博士、カバさん	永野芳宣　著
勘三郎伝説	関　容子　著
こやぶ医院は、なんでも科	柏葉幸子　著
こうさぎと４ほんのマフラー	でくね　いく　作

中央公民館図書室

医者が教える正しい呼吸法	有田秀穂　著
これで安心！不整脈	杉　薫　監修
つばさのおくりもの	小川　糸　著
レーン	あさのあつこ　著
おまじないは魔法の香水	あんびるやすこ　作
ぼくのなまえはダメ！	マルタ・アルテス　作

七城公民館図書室

幻夏	太田　愛　著
がんばらなくていいんだよ	酒井雄哉　著
ゆきのうえゆきのした	ケイト・メスナー　文
ペンギンとざんたい	斉藤　洋　作

旭志公民館図書室

黎明に起つ	伊東　潤　著
手軽につくれる水引アレンジＢＯＯＫ	長浦ちえ　著
ふみきりカンカンなにがくる？	西片拓史　著
にゃんにゃんべんとう	きむらゆういち　作

「使命と魂のリミット」

東野圭吾　著

安藤宣子さん（栄町）

暇と時間をたくさん持っている、高齢の愛読者です。毎日本と向き合える幸せ者。本は歴史、エッセイも読みますが、小説が大好きです。

中央図書室に通い３年余り。もう800冊近く読んでいます。色んな作家作品の中、１番のファンは「東野圭吾」さん。彼の作品は、自分の中では全て読み尽くしているといえるくらい。以前に借り、最近読み返した「使命と魂のリミット」は、なんと感動させられたことか。主人公のナースは父の死に疑問を持ち、その仇と思う医師の下で修業しつつチャンスを待つ。その医師が残り少ない自分の命をかけて、一人の患者を救おうとする。今は母の大切な人でもある医師の姿にとまどいながら、使命か仇かと迷い悩む。

東野作品はハードな面、優しさ、心の豊かさと奥深い。コミカルな「ガリレオ」シリーズ、自称新参者という刑事のシリーズなど、上げ始めると数限りないです。これからもさまざまな作家、作品をリクエストもしつつ愛読していきます。

耳より情報

お話講座②を開催します♪

と　き　2月22日㈯　午後1時30分～3時
ところ　泗水図書館

テーマ　「お国なまりで昔話を楽しむ」

口述文化の昔話を、菊池・合志の語り手の皆さんにご自身の言葉で語ってもらいます。

寒い冬、懐かしい昔話の世界に浸ってみませんか？

定　員　40人

申し込み・問い合わせは泗水図書館へ

☆図書館・図書室を桜の花でいっぱいに☆

と　き　２月１日㈯～４月６日㈰
ところ　泗水図書館・各図書室

市内図書館・図書室の壁に「桜の花」を咲かせましょう。花びらは各図書館・図書室で準備をしています。

メッセージ、好きな本の紹介、お絵かき、１枚1枚の花びらに書いて「全国さくらシンポジウム」を盛り上げましょう！！